

緊急報告

総合的病院誘致計画を断念

国際健康課

今回の計画の経緯

市民が望む総合的病院の開設に向け、200床以上で、二次救急医療にも対応できる総合的病院を2016年に公募しました。その結果、医療法人社団葵会を選考し、2022年度中の病院開設を目標に都市計画などの手続きを進めてきましたが、公募条件の病院を開設するためには県保健医療計画における不足病床数の確保が必要でした。これまでに109床(急性期24床、回復期85床)の病床を得ましたが、公募条件には足りていないため増床を求めていました。

これまでの総合的病院誘致計画

1998年	湘南福祉協会湘南病院が池子接収地への病院建設の意向を表明 → 2001年に進出辞退
2002年	国家公務員共済組合連合会が沼間3丁目市有地での病院計画を表明 → 2005年に断念
2006年	沼間3丁目市有地での総合的病院を公募し聖テレジア会を選考 → 2009年に断念
2016年	沼間3丁目市有地での総合的病院を公募し葵会を選考 → 2020年に断念

計画の断念

病床確保のハードルは高く、公募条件に沿った総合的病院開設の見通しが立たない状況が続いていました。横須賀・三浦地域の二次保健医療圏では、既存の病院が持つ未稼働の病床があることなどから「病床は不足していない」という意見もあり、必要とする病床数の確保が難しく、特に急性期病床の確保は極めて困難な状況でした。葵会としても公募条件である200床以上の病床数が見込めない現在の状況では、これ以上の手続を進めることは難しいと認識していました。

7月15日に市と葵会が協議し、病院誘致を継続しても病院開設の実現は困難であると両者の認識が一致したため、今回の誘致計画を断念することで合意しました。同日付けで2018年11月に締結した「病院の開設及び運営に関する基本的な事項に関する覚書」を解除しましたが、これにより市に財政的な負担は発生しません。

今後について

総合的病院の誘致計画は全くの白紙となりましたが、逗子市に総合的機能を有する病院の誘致を促進する条例や総合計画などの位置付けにより、総合的病院の誘致を進めるという方針は変わりません。今後は二次保健医療圏の状況を確認し、市民、逗葉医師会と市で地域医療や在宅医療について話し合う場を作り、総合的病院の誘致の検討を行っていきます。

総合的病院誘致計画の断念に関する市民説明会

- ① 9月5日(土)13:30~14:30
沼間コミセン
 - ② 9月6日(日)10:00~12:00
市役所5階会議室
- *①・②は同一の内容です。

○今回の総合的病院誘致計画の経緯

年 月	内 容
平成28年12月	沼間3丁目市有地での総合的病院を公募し 医療法人社団 瑞会を選考法人として決定
平成29年 3月	瑞会へ109床の病床配分決定
平成29年11月	瑞会と覚書を締結（2020年度中の開設を目指）
平成29年11月	瑞会が神奈川県へ109床に対する病院開設許可申請書を提出
平成30年 8月	瑞会に109床の開設許可
平成30年11月	瑞会と覚書（一部変更）を締結（2022年度中の開設を目指）
令和元年 9月	用途地域の変更及び地区計画の決定に係る都市計画手続 が完了
令和元年12月	「逗子市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例」を改正
令和 2年 7月	平成30年11月に締結した覚書を合意解除